

障害福祉分野における小規模事業所の協働化の事例

小規模事業所の協働化の目的

障害福祉サービス事業所等を取り巻く環境の変化

- ・物価高騰 ・介護人材不足 ・D X 化 ・ . . .
- ⇒障害福祉サービス事業所等を取り巻く環境は大きく変化

- ・障害福祉事業所等における人材確保及び経営基盤の強化は喫緊の課題。
- ・将来にわたって人材の安定的な確保、経営基盤の強化が必要。

小規模な事業所等で構成されるグループが協働で人材確保や経営基盤の強化に取り組むことで、
創意工夫を生かした効果的・効率的な取組が可能に

小規模事業所の協働化の効果の例

人材募集・確保

- ・事業所間の情報共有や合同の勉強会の開催などにより、ノウハウや工夫を共有。
- ・人材募集用のPR動画やパンフレットの共通フォーマットを作成することで、事務・費用負担が軽減。
- ・合同で外部向けの発表会を開催し、効果的・効率的に情報を発信。

人材育成・定着

- ・職員向けの合同研修を開催することで、企画や開催準備の負担が軽減。事業所間で職員のつながりが生まれ、職員の能力向上が促進。悩みの共有によるバーンアウトの防止効果も。
- ・合同で職場環境改善アンケートを実施することで、回答の匿名性が高まり、意見を出しやすい環境に。

※ この他、資材・物品・ICTやテクノロジー機器等の一括仕入れや、テクノロジー導入・ICT・AI等の技術などについて共同の研修を開催すること等により、事務の効率化やコスト削減が考えられます。

(グループ名)堺市中区協働コンソーシアム

(事業所数) 5 法人 8 事業所

(生活介護、生活訓練、就労継続支援B型、計画相談支援、居宅介護)

(取組概要)

人材不足の解消・職場環境の改善・生産性向上を達成するために、【人材募集・確保】と【人材育成・定着】の2つの軸で取り組みを実施

●課題・背景

- ・ 市内に小規模事業所が数多く存在。小規模事業所は少人数体制のため、職員一人ひとりが複数の役割を担っており、日々の業務で手一杯。特に、「人材募集・確保」と、「人材育成・定着」が課題。
- ・ 「人材募集・確保」では、新たな人材確保に注力することが困難。また、リクルート情報を発信しても膨大な採用情報に埋もれてしまう。単独の事業所で効果的な人材確保を行おうとすると、費用と労力の負担が大きい。
- ・ 「人材育成・定着」では、単独の事業所では、内部での研修実施や外部への研修参加の時間を業務時間内に取ることが困難。また、事業所内に同じ役割・立場の職員がおらず、課題の抱え込みが発生しやすく、バーンアウトや離職に繋がることも。

●取組内容

① 事業所間の現況共有

… 共通ツールの作成（LINEグループ、Googleスプレッドシート）、情報整理（人材確保・育成に関する情報、取組の提案）等

② 事業所合同勉強会 … 合同勉強会の企画/講師調整、開催、振り返りと実践（内容「短時間バイトアプリの活用について探る」）

③ 外部向け発表会 … 地域住民・関係機関・一般を対象とした外部向け発表会の調整・開催、共通のプレゼン資料フォーマットの作成加

④ PR動画制作 … 動画の共通構成フォーマット作成、素材撮影、動画製作/編集、SNSでの発信

⑤ PRパンフレット制作 … パンフレットの共通デザイン作成、素材撮影、パンフレットの製作/編集、発信

⑥ 合同職員向け研修会 … 合同研修の企画、外部講師の調整、研修会の開催

⑦ 職場環境改善アンケート … 内容検討、アンケートフォームの作成、アンケートの実施、集計/整理

⑧ 役割別職員研修の企画 … 運営上の課題整理、外部講師との打ち合わせ、企画立案



●取組成果

【効率化できた作業時間：約70時間 削減できた人件費：約10万円 削減できた事業費：約80万円】※ 1 事業所あたり

- ・ 複数事業所で協議することで、人材募集・確保、育成・定着についての課題整理やアイデア出しが効率化し、質が向上。
- ・ 業務負担やコストが約 4 分の 1 に削減。
- ・ 一つの事業所では制作が困難なPRツールの作成や、研修の開催を実現。

⇒よりよい職場環境の実現へ

堺市1 堺市中区協働コンソーシアム

【調査・分析】各事業所の人材確保/定着の現況把握

小規模事業所の協働化モデル事業共有シート

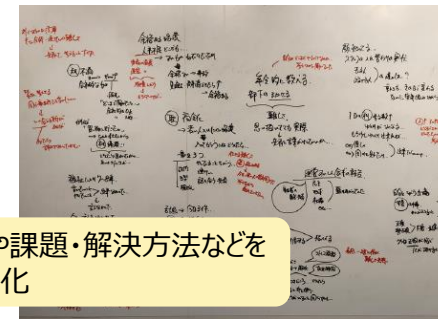
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
法人名	事業数	職種	常勤	非常勤	AI号	合計	HP	SNS	パンフレット	PR動画									
(株) inC	2	介護福祉 多機能型 (生活訓練/生活介護)	5	1	4	10	○	○	○	○									
(株) PEACE	2	介護福祉 共生型 (生活介護) 居宅型	5	1	4	10	○	○	○	○									
(株) ワードけあ	3	小規模多機能型居宅介護 (介護保 護) 認知症対応型共同生活介護 とらきかフェ	5	13	0	18	○	○	○	○									
(株) きいちご館	3	ヘルパーステーション介護、事 業、相談支援、就労支援	4	11		16	○	○	○	○									
(株) ヤマト商工	1	計画相談	2			2	なし	なし	なし	なし									

協働化のメリット

- ・共通の入力フォームで、どの事業所からもアクセスできるエクセルを作成した。
- ・他の事業所の人材確保や育成に関する取組や工夫を情報共有できた。
- ・アイデア出しができた。取り入れやすいものから実施した。



現状や課題・解決方法などを
見える化



【研修】同じ役割や経歴の合同研修・役職クラス勉強会

協働化のメリット

- ・研修の必要性を感じていながら、管理者が動けない実態があった。
- ・内容や講師の選定など、他事業所の管理者と一緒に検討できた。
- ・モデル事業終了後も、共同発注で講師を依頼すればコストカットになる。



【地域連携】堺市中区の地域住民や関係機関への説明

協働化のメリット

- ・共通のプレゼン資料フォーマットを作成できた。
- ・複数事業所の情報を発表するので、聴き手に多くの情報が伝わる。



小規模事業所の協働化モデル事業とは？

協働事業所一覧
堺市中区小規模事業所コンソーシアム

株式会社inC
(生活訓練/生活介護/計画相談)
株式会社PEACE
(生活介護/就B/居宅介護/計画相談)
株式会社りーどけあ
(就B/とらきかフェ)
有限会社きいちご館
(就B/計画相談/居宅介護)
ヤマト商工有限会社
(計画相談)

分野における小規模
することで、障害福
足の解消、生産性
取り組むものであ
請を行い、全国初

プレゼン資料を使えば
どの事業所でも
発表者になれる。



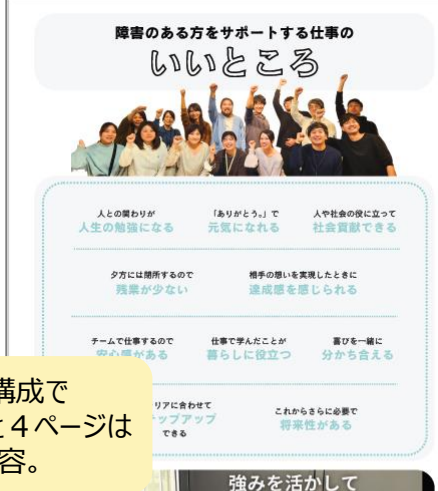
堺市1 堺市中区協働コンソーシアム

【パンフレット】人材募集用のPRパンフレットを制作



このパンフレットは堺市中区内にある以下の障害福祉サービス事業所が協働して作成しました。

- ・インク（生活訓練/生活介護）
- ・インクライフサポートセンター（計画相談）
- ・未来（就労継続支援B型）
- ・カラーピース作業所（就労継続支援B型）
- ・共生型サービスカールピース（生活介護）
- ・かなでヘルプステーション（居宅介護等）
- ・さいちご相談支援センター（計画相談）
- ・さいちご（就労継続支援B型）
- ・LIFORT（計画相談）



4ページ構成で
1ページと4ページは
共通の内容。

協働化のメリット

- ・利用者の募集ではなく、採用募集用のパンフレットを作成できた。
- ・スタッフの想いや利用者の声を整理することができた。
- ・法人ごとに作成したが、共通のデザインで、再編が容易。

はたらくスタッフ紹介



2ページと3ページは
法人ごとで異なる。

利用者からの声



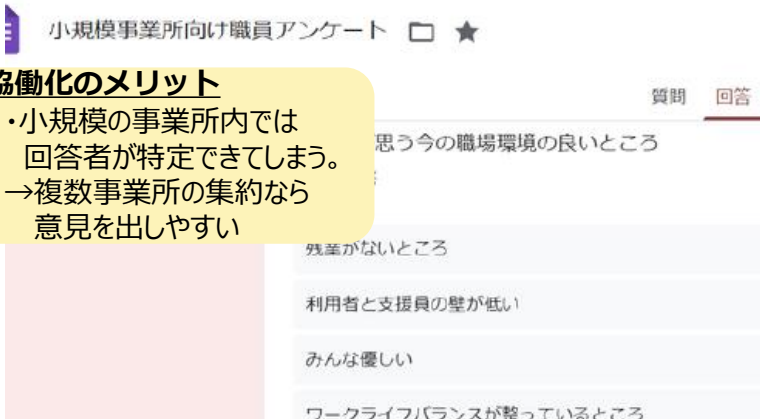
【動画】人材募集用PR動画



協働化のメリット

- ・チャンネルを共有し、まとめて動画を見られるようにした。
- ・共通の構成を採用し、作業時間や経費の削減ができた

【従業員の調査】職場環境改善アンケート



協働化のメリット

- ・小規模の事業所内では回答者が特定できてしまう。→複数事業所の集約なら意見を出しやすい

堺市

(グループ名)堺障害児（者）施設部会

(事業所数) 19 法人 37 事業所

(取組概要)

「人材確保」と「人材定着」といった課題を打破するために、【採用活動】と【職員育成】を協働する組織を構築する。

●課題・背景

- ・ 障害福祉事業を行う社会福祉法人の共通の課題として「人材不足」と「採用に係る知見不足」がある。
- ・ 「人材不足」では、特に小規模な法人において、専任の採用担当職を配置することが困難。また限られた経費の中では広報活動に係るノウハウを持つ職員の育成も中々難しい。
- ・ 「採用に係る知見不足」では、多くの法人がリクルートサイトや求人広告に多額の経費をかけているものの見合った効果は得られていない。さらに1法人だけでは費用対効果を高める方策を見いだすことにも限界がある。障害者支援という仕事が広く知られていないために、広報活動が人材確保に繋がらないといった悩みもある。

●取組内容

- ① 事業者への事前アンケートの実施 …… Googleformを使用、現状把握（採用や育成にあたり困っていること・組織状況）等
- ② 事業所合同検討会 …… 「人材確保」と「人材定着・育成」の2テーマの検討会、意見交換、課題発見、具体的取組案の検討
- ③ PR動画制作 …… 動画の共通構成フォーマット作成、素材撮影、動画製作/編集、SNSでの発信
- ④ PRパンフレット制作 …… パンフレットの共通デザインの作成、素材撮影、パンフレットの製作/編集、発信
- ⑤ 採用イベントの開催 …… 企画立案、説明会、相談対応、参加者アンケートの実施
- ⑥ 採用関連研修 …… 採用活動に関する講義、実習（採用計画・面接）、受講後アンケート
- ⑦ 階層別モデル研修・テーマ別研修 …… 講義、実習、個人ワーク、受講後アンケート
- ⑧ ロールモデルの育成 …… 障害児者福祉の仕事に関する講義、プレゼンテーション
- ⑨ 養成機関への出前講座 …… 仕事内容紹介、障害者との懇談、職員との懇談
- ⑩ ロゴマークの作成 …… 一般公募、審査、ガイドライン作成
- ⑪ 社会福祉連携推進法人研究 …… 先行例の見学会の企画・実施



●取組成果

- i) 取組の検討や研修受講によって法人間の連携が、階層単位で深まり、他法人の良さを知れた。
 - ii) 複数法人が組んだことで、堺市と連携したイベントを実施できた。
 - iii) 「法人紹介動画」「育成プログラム」「モデル研修カリキュラム」等のアウトプットが得られた。
 - iv) 採用のセオリーや育成計画など、学びの機会になった。
- 各法人での採用活動の実践に対する意識の向上へ

[illegible]

堺市2 堺障害児（者）施設部会

【会議・研修】各法人が5階層別に集まり実施。階層別研修資料を作成して、全法人で次年度以降に使用。



協働化のメリット

- ・新人から施設長まで、階層別に求められている人材像を整理し、研修資料を作成できた。
- ・新人同士、中堅同士など、他施設の同じ立場の職員との交流が広がった。
- ・採用や育成の教科書となる資料が完成した。



【視察】京都府の社会福祉連携推進法人を見学

協働化のメリット

- ・各法人から施設長クラスが参加。見識を深め意見を共有できた。
- ・法人間での人事交流（出向させる）などの育成があり感銘を受けた。



【公募】グループ名のロゴマークを決定



- ・ロゴマーク公募サイトを活用。
- ・グループの結束にも繋がった。

最も多くのメンバーが
選出した作品を
最優秀賞として決定。



ロゴマークガイドラインも
作成して共有。



堺障害児（者）
施設部会

東京都

(グループ名) (8グループで取組実施)

(事業所数)35事業所

(生活介護・施設入所支援、児童、就労支援、居宅、相談)

(取組概要)

「求職者とのミスマッチ」「入職後の早期離職」といった課題を克服するために、グループコンサルティングを通じて他法人の取組に触れることで、実践への前向きな取組を促進する。

●課題・背景

- ・ 「求職者とのミスマッチ」「入職後の早期離職」が課題
- ・ こうした背景には、場当たりの採用活動、入職後の定着支援の不足などが挙げられる。



●取組内容

「採用力」と「組織づくり力」の両面を高めることを目的に、各法人が自ら課題を整理し、改善に向けた取組を進める体制を構築するために、実践的なグループコンサルティングを実施

【グループコンサルティング】

- ・ 採用計画の重要性
- ・ メディアごとの特性を生かした情報発信
- ・ 相互理解を深める面接のポイント
- ・ 入職から定着までを一連でサポートする組織づくり など



【各法人での実践】

- ・ 採用ターゲットの明確化、魅力発信
- ・ SNS・Web活用の強化
- ・ 法人理念の浸透、職場環境改善
- ・ 業務効率化とツール活用 など

●取組成果

プログラムや他法人の取組から得た学びを自法人で実践することで以下のようなプラスの効果が得られた。

- ・ 求職者に響く訴求ポイントを整理・発信した結果、求職者からの反響が増え、採用コストも削減
- ・ Instagramやホームページの充実が、求職者からの応募に繋がった。
- ・ 理念共有のための会議開催や職員間コミュニケーションの改善により、職員の理解促進や職場の一体感が向上
- ・ Webサービス等の導入が、職員の業務負担軽減や組織的な効率化に繋がっている。

